

外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

平成23年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番18号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 金城道夫	電話番号	025-386-1212
	豊栄地区自治連合会会長	ホームページ	http://www.toyosaka-tmo.com
市所管課	北区産業振興課	電子メール	tmo@icss.jp
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民, 新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により, 中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて, 地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし, 地域のくらしに貢献する企業を目指す ・社会的信頼・信用の高い企業		

2. 主要事業

事業名			事業概要				
観光業務受託事業			観光協会管理運営業務, 観光PR事業及び特産品PR事業を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予算)
—	—	収入額	千円	3,000	3,000	3,000	3,000
活動指標・成果目標			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
①会員の獲得	計画	人		192	116	120	112
	実績			149	116	110	
②PR事業	計画	回		10	11	12	10
	実績			10	10	9	

事業名			事業概要				
TMO管理運営事業			中心市街地活性化事業の推進及び支援を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予算)
—	—	収入額	千円	0	0	0	0
活動指標・成果目標			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
①葛塚市の活性委員会開催	計画	回		0	0	0	0
	実績			0	0	0	
②個店支援	計画	店		70	68	65	65
	実績			70	63	63	

事業名			事業概要				
ふれあいセンター管理運営業務受託事業			ふれあいセンターの受付け業務を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予算)
—	—	収入額	千円	1,626	1,620	1,626	1,633
活動指標・成果目標			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
①利用回数	計画	回		2,700	2,690	2,600	2,830
	実績			2,657	2,532	2,826	
②利用人数	計画	人		38,000	35,800	36,900	36,500
	実績			35,139	36,759	36,359	

事業名			事業概要				
とよさかシール会業務受託事業			とよさかシール会業務受託事業				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予算)
—	—	収入額	千円	600	240	240	240
活動指標・成果目標			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
①運営委員会	計画	回		10	10	10	10
	実績			7	7	6	
②加盟店	計画	店		100	98	95	90
	実績			94	92	87	

事業名			事業概要				
ヤマザキショップ豊栄駅店収益事業			ヤマザキショップ豊栄駅店の経営を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度(予算)
—	—	支出額	千円	31,378	29,939	29,256	29,134
活動指標・成果目標			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
①Yショップ売上げ	計画	千円		31,000	31,936	31,933	30,194
	実績			31,936	31,003	29,604	

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位:人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
役員数	14	14	11	11
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	14	14	11	11
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	12	12	10	9
その他	2	2	1	2
職員数	10	10	10	18
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	9	9	9	17
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	9	9	9	17
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況(市派遣職員を除く。)

(単位:人)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	9	9	9	17
	合計	10	10	10	18
年齢構成	20代以下	1	0	0	1
	30代	5	4	4	4
	40代	1	2	2	2
	50代	1	1	1	6
	60代以上	2	3	2	5
	合計	10	10	9	18

4. 財務の状況

(1) 損益計算書

(決算 単位:千円)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	40,776	39,454	38,611
		営業費用	39,414	37,305	38,781
		売上原価	26,191	25,310	25,160
		事業費	0	0	0
		販売費・一般管理費	13,223	11,995	13,621
	営業損益	1,362	2,149	170	
	営業外損益	営業外収益	178	99	213
		営業外費用	42	42	38
		営業外損益	136	57	175
経常損益	1,498	2,206	5		
損特別	特別利益	0	0	5	
	特別損失	0	0	0	
	特別損益	0	0	5	
税引前当期損益		1,498	2,206	10	
法人税、住民税及び事業税		501	743	190	
当期損益		997	1,463	180	
前期繰越損益		1,209	212	1,253	
当期末処分損益		212	1,251	1,073	
処利分益	利益処分額	0	0	0	
	次期繰越損益	0	0	0	

(参考)

(決算 単位:千円)

(別掲)人件費	7,426	7,573	7,705
役員分	0	0	0
職員分	7,426	7,573	7,705

(2) 貸借対照表

(決算 単位:千円)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度
資産の部	資産の部合計	39,892	40,526	38,571
	流動資産	32,086	34,161	26,905
	現金預金	28,139	30,253	23,537
	受取手形	0	0	0
	未収金	3,074	2,692	1,908
	有価証券	0	0	0
	その他流動資産	873	1,216	1,460
	固定資産	7,726	6,327	11,666
	有形固定資産	6,201	4,795	10,141
	無形固定資産	57	57	57
	その他投資等	1,468	1,475	1,468
	繰延資産	80	38	0
負債の部	負債の部合計	6,804	5,973	4,198
	流動負債	3,167	3,427	2,743
	短期借入金	0	0	0
	その他流動負債	3,167	3,427	2,743
	固定負債	3,637	2,546	1,455
	長期借入金	0	0	0
その他固定負債	3,637	2,546	1,455	
純資産の部	純資産の部合計	33,088	34,552	34,373
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金	0	0	0
	剰余金	212	1,252	1,073
	うち当期末処分損益 (当期損益)	212	1,252	1,073
負債の部及び純資産の部合計		39,892	40,525	38,571

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位:千円)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度
市財政支出等の合計		5,008	4,769	3,842
補助金	補助金	0	0	0
	事業費補助金			
	運営費補助金			
	設備投資に係る補助金			
	負担金			
	交付金			
	委託料	5,008	4,769	3,842
	内 随意契約額	5,008	4,769	3,842
	貸付金(期中借入額)			
	出資・出捐金(追加額)			
その他				
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免, 建物の無償貸与等)	事務室の使用料減免 (25%) 使用面積11.25㎡	事務室の使用料減免 (25%) 使用面積11.25㎡		

随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

- ・ふれあいセンター受付業務委託料
- ・ふれあい交流拠点調査業務(H20~H22)

5. 経営改善状況（評価指標）

評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度
経常損益		1,498 千円	2,206 千円	5 千円
当期損益		997 千円	1,463 千円	180 千円
自己資本比率	純資産	82.9 %	85.3 %	89.1 %
	純資産 + 負債			
流動比率	流動資産	1013.1 %	996.8 %	980.9 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	21.0 %	17.1 %	32.6 %
	固定負債 + 純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）		212 千円	1,252 千円	1,073 千円
純資産 - 資本金（基本金）				
資金運用	（基本財産としての 有価証券の保有）	有	運用方針を明文化し、それによって運用している。 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 資金運用に関する情報収集に努めている。 元本割れのリスクはない。	
		無		

（2）団体の自立性

指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	12.2 %	12.1 %	9.9 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度
総資本経常利益率	経常利益	3.8 %	5.4 %	0.0 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	3.7 %	5.6 %	0.0 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.0	1.0	1.0
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	4,078 千円	3,945 千円	3,861 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	150 千円	221 千円	1 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	32.4 %	30.4 %	35.3 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	13,223 千円	11,995 千円	13,621 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	18.2 %	19.2 %	20.0 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

中長期計画の策定状況	
有	計画名称 [ステップ・アップ2016] 計画期間 平成21 ~ 平成28 年度
概要・数値目標	
中期(平成21年度~平成23年度) 長期(平成24年度~平成28年度) <概要>・空き店舗活用による新規収益事業・賑わい創出・商品開発と販売システムの構築 <数値目標>・ヤマザキショップ豊栄駅店の初年度赤字の解消 ・ヤマザキショップ豊栄駅店の50万円以上黒字の維持 ・新規事業の初年度黒字 ・新規事業の2年目以降100万円以上黒字	
無	未策定理由 []

経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度~ 依頼先職種 []	有	依頼時期 平成15 年度~ 依頼先職種 [公認会計士(有)風間会計社]
無		無	

事務処理改善の取組み	
有	取組内容 平成22 年度~ [株式会社まちづくり豊栄事務専決規程]
無	

人材育成の取組み	
有	取組内容 年度~
無	

情報公開に関する規定の整備状況			
有	策定期間 平成 年度~ 規定名称 []	団体ホームページ掲載	定款等 平成22 年度~
無	未整備理由 [規程を整備するほどの事業規模にないとし]		事業内容 平成19 年度~
			役員名簿 平成19 年度~
			役員報酬 年度~
			事業報告 平成19 年度~
			損益計算書 年度~
			貸借対照表 年度~
			事業計画書 平成19 年度~
		予算概要 平成22 年度~	

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 平成22年度評価調査【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
中長期計画にある収益事業に着手する（計画の実行）					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		食の提供と情報発信事業として、うどん・そば屋（一片食）を4月10日にオープンした。			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	収益事業としての見極め（6ヶ月見直し）（1年後継続か撤退か見極める）			
	実施事項	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	収益事業としての見極め	H23.9.30 見直し	H24.4.1 継続か撤退か	継続 新規事業発掘	継続 新規事業発掘

今後の取組み					
地域全体の物流をつくる（ブランド化によるまちづくり，賑わい創出）					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		物語（ストーリー）づくり勉強会を実施する（北区郷土博物館，北宝隊，有識者による）			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	物語（ストーリー）をまとめる			
	実施事項	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	2ヶ月に1回の勉強会を実施	継続	ストーリー完結	具体的プラン作成	継続

今後の取組み					
ヤマザキショップ豊栄駅店の黒字経営を維持する					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		過剰な発注の抑制，見習い日数の短縮，売れ筋商品の発掘等			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	外販商品の販路拡大（会議用，イベント用の飲料，うな重，菓子，贈答品等）			
	実施事項	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	会議用・イベント用飲食の販売	継続	継続	継続	継続

今後の取組み					
施策ごとに小委員会を編成し、推進力を強める					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		収益事業小委員会を編成した			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	取締役会で検討していた内容を、より専門的分野の小委員会体制で検討とすることによりスピードアップを図る。			
	実施事項	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	小委員会を編成し 推進力を強める	継続	継続	継続	継続
工程					

(2) 平成22年度評価調査【総合評価】における「今後の取組みに対する評価、改善指示事項」の改善状況

今後の取組み					
中長期計画に掲げた事業毎に具体的なアクションプランを作成されたい。					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		アクションプランの作成や中長期計画の見直しをする			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	実施済の収益事業の6ヶ月、1年後の収支を見極めた上でアクションプランの作成、中長期計画の見直しを行う。			
	実施事項	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	アクションプランの作成	実施済みの収益事業に全力傾注	アクションプランの見直しと次なるアクションプランの検討		
工程	中長期計画の見直し	収益事業の結果を見極め見直しを検討			

今後の取組み					
団体の設立目的を達成するため、地域団体とのつながりを深め、地域が必要とする事業についてのアイデアを集めて実行する仕組みづくりを検討されたい。					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		北区役所をはじめ、地域団体に働きかけを強める			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	北区役所の協力を得て懇談会という形で、北区地場農水産物研究協議会をスタートさせた。			
	実施事項	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	協議会の運営	継続	継続	継続	継続
工程					

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	構造的不況や東日本大震災における納品の遅れ等を受けながらも、ヤマザキショップ豊栄駅店は黒字決算で終わることができた。4月10日にオープンした収益事業うどん・そば屋（一片食）においても納品予定としていた備品等に大きな打撃があった。今後はうどん・そば屋（一片食）の収益事業としての見極めが重要となる。（6ヶ月見直し、1年後の見極め）
団体の自立性	今回、新規収益事業としてうどん・そば屋（一片食）を着手した事により、社長以下全取締役の自覚意識が高まった。この収益事業の結果によっては、さらに自覚意識が高くなると思われる。そのためにも、何としても単年度収支均衡が望まれる。
経営の効率性・適正性	取締役の数を12名から9名に減らした結果、責任意識が高まり出席率も向上したため、成立しない取締役会は皆無となった。事務専決規程の整備、決裁に関する定款の変更も功を奏し、業務のスピードアップ化が図られた。
その他	新規収益事業のうどん・そば屋（一片食）の小委員会メンバーに取締役の若手3名を選出した結果、アイデア、スピードすべての面で成功だった。専門的分野の小委員会体制で検討したことも成功した要因である。
総括的な所見	
自立への道は、この収益事業の成否にかかっていると見てよい。全取締役が必死になって取り組む姿勢こそが成否の鍵を握っている。	

【所管課による評価】

現状に対する評価	新規収益事業としての、うどん・そば屋（一片食）に着手したことは、まちの賑わいにつながる事業であり、経営基盤の確立という点でもヤマザキショップ豊栄駅店の安定した黒字経営とあわせて評価できる。
課題及び改善すべき事柄	ヤマザキショップ豊栄駅店は黒字経営となっているが、財政基盤を確立させていく上でも、新規収益事業として着手したうどん・そば屋（一片食）の経営健全化が必要である。
今後の指導方針	着手された新規収益事業について安定した経営を求め、財政基盤の確立が進むように中長期計画の着実な実行を引き続き求めて行く。

【今後の取組み】

	新規収益事業の経営を安定化を目指すとともに、採算が取れない場合の撤退時期の見極め
	地域全体の物流をつくる（ブランド化によるまちづくり、賑わい創出）
	ヤマザキショップ豊栄駅店の黒字経営を維持する
	施策ごとの小委員会を編成し、推進力を強める

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
<p>新規事業としてオープンした「うどん・そば店」は、売上げが伸び悩み厳しい状況であり、収益向上への取組みが早急に必要である。</p> <p>「うどん・そば店」の経営に時間を費やしてしまったため、中長期計画に掲げた事業ごとの具体的アクションプランの作成は取り組むことができておらず、継続課題と言える。</p> <p>Yショップは、昨年8月くらいから飲料水の売上げの落ち込みや、地震の関係で営業停止していたものの黒字決算で終わったことは評価できる。</p>			
今後の取組みに対する評価、改善指示事項			
<p>「うどん・そば店」は開店後1年の結果で、継続か撤退かを決断する方針だが、駅前商店街の活性化を目的として取組んだ新事業のため、売上げを伸ばすための方法を早期に検討されたい。</p> <p>また、地域ブランドの確立、Yショップの販路拡大等の取り組みも積極的に行う必要がある。ブランド化によるまちづくり、販路創出事業に関しては、会社だけでなく、行政、商工会、自治会等の関係機関と一体となって、事業に取り組む必要があるため、そのネットワーク強化も必要である。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

平成23年12月9日 代表取締役 金城道夫
<p>「うどん・そば店」は高齢者（買物弱者）の対する第一段階としての「食の提供」であり、第二段階の「ミニスーパー」、第三段階の「食の配達」のためにも頓挫は許されない。年度末までの見極め観察期間内に採算の目途を立てるべく抜本的改善策を1月中に構築したい。</p> <p>また、ブランド化等による、まちづくり、販路創出については、北区地場農水産研究協議会及び商工関係懇談会等によるネットワークづくりが進行中である。</p>